

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
社会学	2年次	必修	講義	2単位（30時間）	加藤 英一
授 業 概 要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・M. ウェーバー、E. デュルケム、G. ジンメル等の社会学における基礎理論を学ぶ。</li> <li>・行為論を中心とした社会学における基礎概念を学ぶ。</li> <li>・家族、格差社会、福祉、医療等の個別領域における社会的な研究を学ぶ。</li> </ul>					
到 達 目 標					
<p>学生諸君が広く社会の諸問題に対して関心を抱くようになり、その背後にある社会構造を説明できるようにする。そのためにも社会学の基礎概念と共に社会的視点を身につけ、ものごとを論理的に考える方法の習得を本講義の到達目標とする。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	社会学と社会：社会学とは何か？				加藤 英一
2	社会学の歴史(1)：M. ウェーバー、E. デュルケム、G. ジンメル等の社会学理論				
3	社会学の歴史(2)：G. H. ミード、T. パーソンズ、G. C. ホーマンズ等の社会学理論				
4	社会学の基礎概念（行為）：社会学における行為と相互行為の概念				
5	社会学の基礎概念（集団）：役割理論と組織理論				
6	家族(1)：家族社会学の系譜				
7	家族(2)：現代の家族と諸問題				
8	格差社会(1)：現代の格差社会の現状				
9	格差社会(2)：現代の格差社会が抱える諸問題				
10	福祉社会(1)：福祉社会の成立過程				
11	福祉社会(2)：現代の福祉制度				
12	医療(1)：医療社会学の系譜				
13	医療(2)：医療従事者における人間関係				
14	医療(3)：現代医療と諸問題				
15	まとめ：これまでの授業のまとめ				
学 習 方 法					
特に予習等の必要はないが、授業中には教員の話に集中し、配付したレジュメにメモをとること。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験及びリアクションペーパー等をもとに評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
教科書は使用せず、毎回、レジュメ及び資料等を配付する。 参考文献等に関しては随時紹介する。					